

議会報告会を開催



自治会連合会

議会基本条例に基づき、2月16日に自治会連合会と、2月17日に女性団体連絡協議会を対象にそれぞれ議会報告会を開催しました。報告会では、始めに12月定例会の結果や、議会改革の取り組みなど、議員から説明を行い、その後は意見交換を行いました。報告会での主な意見を掲載します。

質 人口規模で考えたときに臼杵市と同程度のため、議員定数を18人としたらどうか検討いただきたい。(自治会連合会)

答 臼杵市とは人口が同規模で産業別人口比率等似ている点も多くあり、臼杵市の定数は、選挙肢の一つとして検討に値すると考えられますが、両市で異なる点も多々あります。また、議会の運営方法や議会改革の取り組みも同様ではありません。全国的には、議員定数の決定に当たっては、人口に加えて、議会の運営方

法など、他の要素も総合的に鑑みて決定しているようです。今後、更なる検討を深め、遅くとも来年度中には結論を出す必要があると考えており、鋭意取り組んでまいりますので、ご理解をお願いいたします。

質 今、一番取り組んでいけることは。(女性団体連絡協議会)

答 市議会基本条例の下、市議会の活性化や改革に取り組んでいきます。委員会では、議会が開催されていない期間でも、積極的に委員会を開催し、所管する事務事業について調査研究するようにしました。現在、提案する議会を指し、議会版事務事業評価や政策提言について、調査検討しています。

また、質問の中で執行部の見解が必要なものは、執行部に回答を求め、後日それぞれに執行部の見解をお渡ししました。

議員研修会



2月12日に議員研修会を開催し、日本銀行大分支店長秀島弘高氏をお招きし、「最近の金融経済情勢」と題して世界経済の見通しや大分県経済の現状について詳しく解説いただきました。今後も議員研修の充実強化に努め、政策形成、政策立案等に係る能力の向上を図ってまいります。

議会日誌

1月

- 5日(月) 議会広報編集特別委員会
- 7日(水) 議会広報編集特別委員会
- 13日(火) 議会活性化委員会
- 15日(木) 議会広報編集特別委員会
- 21日(水) 富山県小矢部市議会行政視察来市
- 22日(木) 厚生文教常任委員会
- 26日(月) 議会活性化委員会

2月

- 9日(月) 議会活性化委員会
熊本県下益城郡美里町議会
行政視察来市
- 10日(火) 厚生文教常任委員会
- 12日(木) 議員研修会
- 16日(月) 議会報告会 (自治会連合会)
- 17日(火) 議会報告会 (女性団体連絡協議会)
- 20日(金) 議会運営委員会
- 24日(火) 議会活性化委員会
- 25日(水) 議会運営委員会
- 27日(金) 本会議 (開会)
議会広報編集特別委員会

3月

- 5日(木) 本会議(代表質問)
- 9日(月) 本会議(一般質問)
- 10日(火) 本会議(一般質問)
- 13日(金) 本会議(議案質疑、委員会付託)
議会活性化委員会
- 16日(月) 常任委員会(付託議案審査)
- 18日(水) 予算特別委員会(特別会計)
議会活性化委員会
- 19日(木) 予算特別委員会(一般会計)
- 20日(金) 予算特別委員会(一般会計)
- 24日(火) 本会議(討論・採決)
議会運営委員会
- 31日(火) 議会広報編集特別委員会



委員長 佐藤 徳宣



副委員長 沓掛 義範



委員 朝倉 秀康

私は当委員会に2期4年間に在籍しました。この間、「議会基本条例」が施行され、議会報告会が義務付けられ、各町を回りました。この報告会の中で、議会広報紙に対する市民皆様の的確な指摘や要望等多数いただきました。ありがとうございます。検討した結果、取り入れられ、検討だけで終わっている事項もあります。後任の委員に申し送り、読みやすい紙面づくりをお願いしたいと思います。ご愛読感謝申し上げます。

2年間、佐藤委員長を補佐として副委員長を務め、今期は新しく4人の委員を迎え、新鮮な感覚で「声のかけ橋」を発行することができました。また、各議員による一般質問では、議員の質問が何を言おうとしているのか伝わるように、分かりやすい写真の掲載に努め、現地で写真撮影を行ってまいりました。

これまで皆様にご覧いただいていた議会報告会が、2年間で大きく変わりました。2年間おつかれさまでした。

議会広報委員として2年間、議会の様子や市民の皆様にお伝えする広報紙づくりに携わってまいりました。限られた紙面と文字数の中、寄せられた原稿を正確に伝える使命感の中、寄稿される方々の苦勞も垣間見れ編集委員として貴重な経験をさせていただきました。これまで回覧板の中の多数の資料の中の一部として見過ごされがちの「声のかけ橋」をより多くのの方々の目に止まる工夫も必要ではと感じています。



委員 内田 俊和



委員 小野 勇治



委員 赤峰 映洋

議会広報編集特別委員を拝命し、2年間、一度の欠席もなしに発行に携わることにできたことに感謝します。先輩委員の指導の下で「声のかけ橋」を発行し、市内の隅々まで写真撮影に回れたことは、委員として多くの知識をいただくことができました。

議員提出の原稿の校正時に質問、答弁の発言内容が一般質問と正確であるかに時間を多く費やし、市民に分かりやすく読みやすい広報紙になるように心がけました。

議員活動の原点である皆様との距離が少しでも近くなることの必要を改めて感じる声のかけ橋2年間でした。それぞれ個性のある議員の気持ちを正しく紙面に表すことは簡単なようで、難しい局面もありましたが、幸い議会事務局の皆さんにも多大の支援をいただきました。

広報委員会の一員として2年間があつたという間に過ぎた感があります。市民の皆様にご覧いただくべく、正しく伝える責任を重く受け止めて努めてまいりました。私自身は、議員発言や執行部発言を正確に確認し、勉強することができましたが、読者の方々が本当に読みやすく親しむを持つことができただのかと心配する面も残っています。この議会広報紙が市民と議会の真のかけ橋となることを切に望みます。